

だれもが安心!!

東急電鉄バリアフリー新聞



発行者
三瓶桐暉

発行日
2025年
8月18日

東急電鉄のバリアフリーを調査!!

ぼくは、鉄道のバリアフリーには
どんなものがあるのか気になった
ので、ぼくの好きな東急電鉄の
バリアフリーを調査しました。

バリアフリーとは?

バリアフリーとは、体の不自由
な人や高齢者が社会生活をして
いくうえで、さまざまな(バリア)に
なるものを取りのぞく(フリー)です。

バリアフリーNo.01

改札が二つだけ広い!!

「ワイド改札機」

みなさんは一つだけ広い改札
機を見たことはありますか?

その改札機は「ワイド改札機」
といって、車いすの人やベビーカー
の人でも通ることのできる一般
の改札機よりも幅の広い改札機です。

どれくらい違うの?
一般の改札機
55cm~59cm
ワイド改札機
90cm



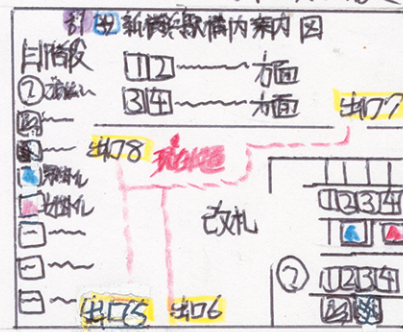
バリアフリーNo.02

「触知案内板」

触知案内板とは、視覚障害
者が駅構内の施設の概要など
を点字や音声でとらえることの
できる案内板のことです。
駅構内の案内板だけではなく、
トイレや公共の施設などでも
使われています。



▲駅の触知案内板



▲駅構内の触知案内板(仮)

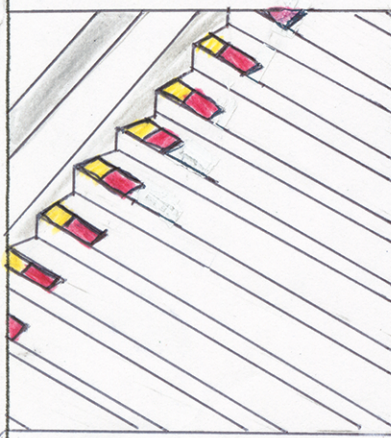
バリアフリーNo.03

「歩行路標識シール」

みなさんは、階段に黄色と赤の
シールがはってあるのを見たことま
ありますか? そのシールは、歩
行路標識シールといって、高齢者
や弱視の人の転落防止のため、
段差をはっきり識別できるように
するためのシールです。



▲歩行路標識シール



▲シールがはってある階段

バリアフリーNo.04

「フリースペース」

電車の車両の端にいくと
広いスペースがあることがあります。
そのスペースは「フリースペース」と
いって、車いすの人やベビーカーの
人でも利用できるスペースです。
スペースには、乗務員と通話が
できる非常通報装置も備え
られています。



▲車内のフリースペース

バリアフリーNo.05

「ホームドア」

東急電鉄では二〇二〇年にホームド
アセンサー付固定式ホームドアを
全ての駅に設置完了しました。
それによりホーム転落件数が大幅
に減りました。また体の不自由な人
や高齢者などの転落も防ぐことが
できるのどホームドアはホームの
安全性を高める重要な役割を
果たしています。



※世田谷線・
この国鉄線

編集後記

ぼくは、今回、鉄道のバリアフリー
のことを調べて、まだまだ知らない
バリアフリーがたくさんあるという
ことを知りました。これからエレ
ベーターを必要としている人の
ために、エレベーターを使わない、ゆ
するなどの心のバリアフリーも
大切になりたいです。



東急電鉄バリアフリー設置状況



エレベーター

71駅/99駅中



AED

99駅/99駅中



車いす対応トイレ

92駅/99駅中



オストメイト対応トイレ

90駅/99駅中



ベビーカー対応トイレ

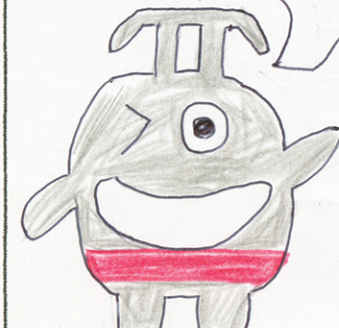
90駅/99駅中



スロープ

31駅/99駅中

これからは東急電鉄は
積極的にバリアフリー化
をすすめるよ!!



東急線キャラクター

のぞみ

出典:tokyu.co.jp